

縄文遺跡群の世界遺産登録を目指して ～ その意義と可能性 ～

* 公開座談会 縄文文化の魅力を語る

- ◇講師 阿部千春氏 (あべ ちはる)
◇日時 平成 28年 2月 18日 (木)
1. 講演会 14:00～15:00 2. 公開座談会 15:00～16:00
◇会場 かでる2・7ビル7階 710会議室 (札幌市中央区北2条西7丁目)

《要旨》

縄文文化は自然と共生しながら一万年以上も存続した日本の先史文化です。現在、この縄文遺跡群について北海道と北東北3県が共同で世界遺産登録に取り組んでおり、すでにユネスコの暫定リストに記載されています。この講座を通じて、縄文文化の大切さや世界遺産登録の意義について考えるとともに、世界遺産を活かして地域が輝いていくために、どのような市民活動が可能なのか議論を展開していきます。

《プロフィール》

- ・昭和 34年 赤平市生まれ
- ・昭和 58年 3月 立正大学文学部史学科卒業 (考古学専攻)
- ・平成 元年 4月 南茅部町教育委員会社会教育課文化財係
- ・平成 23年 10月 函館市縄文文化交流センター館長
- ・平成 27年 6月 北海道環境生活部 暮らし安全局 文化・スポーツ課
縄文世界遺産推進室 特別研究員 (現在に至る)

《主な著書》 「大規模集落の出現」『新北海道の古代 旧石器・縄文文化』北海道新聞社、
「アスファルトの供給」『縄文時代の考古学6』同成社、『北の縄文-円筒土器文化の世界-』(共著)北の縄文研究会、『津軽海峡圏の縄文文化』
(共編:安田喜憲)雄山閣 他

受講料 700円 (保護協会会員500円、学生300円)

申込方法 電話・FAX・メールで事前申込が必要

定員90名 (定員になり次第締切)

申込先 北海道文化財保護協会事務局

電話・FAX 011-271-4220

Eメール bunho@abelia.ocn.ne.jp

主催 北海道文化財保護協会・札幌国際大学

